

## はじめに

「滅亡の論理」を創成した天才たち	9
エントロピーの法則	14
行きつくところは死の惑星	17
物質世界の法則からの超越	22

## 第一章 反逆のテーマ

とても信じられない事実	28
石が流れて木の葉が沈む	30
お釈尊さまの予言	33
日本の仏教はシナ仏教	35
シナ化されて靈性を消滅させられた仏教	37
經典の編集と教団の分裂	43
飛び出した大衆部	46
にせ經典をつくり出す	51
日本に仏教は三度伝来した	54
仏陀思想の原初を探る「古くて新しい」根本仏教	57

## 第二章 靈性のテーマ

◎千年にわたる中国仏教の受容	57
◎顧みられなかった「阿含」	58
◎阿含經典こそが根本聖典	59
現身仏と法身仏	61
阿含經は仏教の根幹 世に知られざる阿含經	64
まったくまちがっていた天台智顛の「五時教判」	66
釈尊直説の經典だから阿含經が尊いというのではない	70
成仏法があるからこそ仏教は尊く価値があるのだ	73
修行しないで成仏できると説く	80
成仏できない仏教となる	83
キリストの奇蹟と釈尊の神通力	88
神通力こそ釈尊の原点	95
ムチャリンダ龍王現形す	98

### 第三章 生と死のテーマ

伝承の歴史	108
死後の問題	114
与陰相統す	118
「如是我聞」の罪	125
ヴェーダの「業報輪廻」の思想	131
六師外道とその時代背景	136
● プーラナ・カッサパ	139
● マツカリ・ゴースーラ	141
● サンジャヤ・ベラッティプッタ	142
● アジタ・ケーサカンパリン	144
● パクダ・カッチャーヤナ	145
● ニガンタ・ナータプッタ	146
● ゴータマ・ブツダ	150
ほんとうの生命の実相	152
靈魂論	157
「与陰」とは靈魂	164

### 第四章 解脱へのテーマ

薪は尽きても火は燃える	170
「再生」と、肉体を持たない存在	177
死後の生の証拠	182
バラモンの神通力	186
「死後の生処をよく見よ」	201
成仏法とは七科三十七道品	210
祇園精舎	215
輪廻の根本原因	219
輪廻宇宙論	224
内閣総理大臣も狗子だ	229
彼の比丘とは日本中の坊さん	236
弘法大師と道元禅師は別	240
成仏をねがわなくても成仏してしまう	247
奇なるかな成仏法の威力	251

五の下分結とは 261

十結煩惱 271

「三結」さえ断じていない名僧たち 275

阿羅漢を小乗としたカラクリ 278

守護霊の実相 286

守護霊秘法 288

成仏の段階 291

七覚支成仏法 294

念力をつよくしてバランスをたもつ 296

えらび取ることが修行 299

修行が苦しいというやつは一人前になれない 311

喜びが自然に湧いてくる 321

ころころに微笑を持って 326

修行法と梵行 329

## おわりに

原爆は三度落ちる 335

シャカ族はなぜ殲滅されたか？ 337

シャカ族の最後 341

シャカのなし得なかったことをしなければならぬ 343

宗教運動を超えて社会運動へ 345